



りゅうおう

議会だより

No.160
2012.7.1

RYUOH

編集発行 ● 滋賀県蒲生郡 竜王町議会 ☎0748-58-3713(直通) (有)58-3713



「田んぼのオーナー」 田植え体験

- 平成24年第2回定例会..... 2~3
- 各委員会活動..... 4~6
- 一般質問..... 7~12
- いきいき人生 谷口信子さん..... 12



平成24年 第2回定例会審議内容

平成24年第2回定例会は5月17日から31日までの15日間で開かれました。今定例会では、専決処分3件、平成24年度一般会計補正予算1件、人事案件1件の5件が提案され、すべて全員賛成で可決・承認・同意されました。他に、一般会計繰越明許費繰越計算書の報告、竜王町選挙管理委員会委員および同補充員の選挙、各委員会報告がありました。

専決処分

竜王町税条例の一部を改正する条例

主な改正点は、①公的年金等に係る所得以外の所得を有しなかった者が寡婦（寡夫）控除を受けようとする場合の申告書の提出を不要とする改正、②評価替えに伴う対象年度の改正および土地に係る負担調整措置の見直しに伴う改正等、③東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限の延長および住宅借入金等特別税額控除の適用期限等の特例の追加です。
（全員賛成で承認）

竜王町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

主な改正点は、東日本大震災に係る被災居住用財産の敷地に係る譲渡期限延長の特例の追加です。
（全員賛成で承認）

平成23年度竜王町国民健康保険事業特別会計（事業勘定）補正予算（第4号）

平成23年度補正予算（第3号）までの歳入歳出予算総額10億3758万9千円について、一部を組み替えたものです。一般被

保険者療養給付費（負担金）1163万円の増額に対し、退職被保険者等療養給付費（負担金）733万円、一般被保険者高額療養給付費（負担金）430万円の減額で

この理由として、3月補正予算後において2月診療分の医療費が突出して増加する見込みとなつたため、議会を招集する時間的余裕がなく、専決処分となりました。
（全員賛成で承認）



竜王町国民健康保険医科診療所の全景

付託案件

平成24年度竜王町一般会計補正予算（第1号）

既決予算に308万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を47億9008万4千円に改めるものです。歳出補正の主な内容は、市内ネットワークへの接続作

業等手数料（39万5千円）、国民年金システム改修委託料（37万8千円）、道の駅観光案内看板の修繕費（15万4千円）、コミュニティ・スクール推進事業（30万6千円）、外国語能力強化地域形成事業（79万円）、竜王幼稚園管理費における雨漏れ修繕費（106万1千円）などです。



竜王幼稚園 天井の雨漏れ箇所

主な質疑応答

問 道の駅看板修繕費が計上されているが、指定管理されている施設の設備も町が負担するのか。

答 施設の全体にかかる分については町が負担します。ガラスが割れた等の軽微なものについては、指定管理者側で負担していただきます。

問 外国語能力強化地域形成事業の内容とその費用はどのようなものか。

答 国より研究校の指定を受けた竜王中学校で生



道の駅 竜王かがみの里 傷みのはげしい看板

徒の英語力向上を目指します。費用は、英語教材のCD、研究発表用冊子の印刷製本費、講師謝礼や旅費等です。研究成果も県内に広く紹介します。

(全員賛成で可決)

人事案件

竜王町職員懲戒審査委員会委員の任命について

福山 忠雄 氏

竜王町 庄

(全員賛成で同意)

平成23年度一般会計繰越明許費・繰越額の状況一覧表

事業名	繰越額
第6次国土利用計画策定事業	824,000円
篠原駅周辺都市基盤整備事業	2,984,000円
農業体質強化基盤整備促進事業	7,320,000円
町道松陽台安養寺線道路改築事業	28,006,000円
公共交通対策検討事業	6,556,000円
竜王小学校施設整備事業	225,851,000円
給食センター屋外型高圧キュービクル設備改修事業	7,946,000円

報告

平成23年度竜王町一般会計繰越明許費・繰越額の状況については、左表のとおりです。

選挙管理委員・同補充員

竜王町選挙管理委員会委員および同補充員の任期が満了することに伴い、選挙(指名推薦)の結果、次の方が当選されました。

委員

木村 常雄氏(西山)
松浦 正和氏(岡屋)
楠本 恭久氏(林)
北川 治郎氏(西横関)

補充員

谷村ゆき江氏(西出)
田村 忠 氏(松が丘)
中松 計次氏(西川)
平野 明美氏(美松台)



各委員会活動

総務産業建設常任委員会

ごみ減量化の取り組み

ごみ減量チャレンジ優良地区報奨事業は平成21年度より実施して、平成21年度は20地区、22年度は25地区、23年度は23地区が参加されました。優良地区には報奨金が支払われています。

本町の中部清掃組合へのごみの搬入量は、集落からの委託収集量は減少傾向にあるが、アウトレットの影響もあり平成22年より燃えるごみについては増加しています。その他のごみについては減少傾向が見られます。

ごみ減量に対する啓発の取り組みについては、分別の徹底（分ければ資源になるという意識）、ひと絞り運動の継続（生ごみの8割が水分）およびコンポスト・電動生ごみ処理機・ボカシ容器の購入に対するごみ減量化推進事業補助金の交付などが実施されており、これらの取り組みについて地域環境整備推進会議等を通じて周知・啓発に努め、協力を呼び掛けられています。

エコライフ推進協議会のごみ減量・水環境・省エネの各部会（会員44人）と連携をとりながら、「生ごみの堆肥化学習会」や「河川の水環境をまもるボスターコンクール」、平和堂フレンドマーケット竜王店前での「マイバック運動」などを実施されました。



ごみステーション

主な質疑応答

問 山中地区ではごみ減量の取り組みが進んでいて、一人当たりのごみ搬入量が町全体平均の半分以下となっている。この取り組みを町内に広められないか。

答 地域環境整備推進会議での情報交換や各集落への出前講座を行っています。山中が作成されたパワーポイントも活用させていただき、取り組みをまとめる集落に向いていきます。

防犯・交通安全啓発について

防犯の取り組みとして、防犯診断や近江八幡地区防犯自治会との連携による啓発等が行われています。

平成23年度の近江八幡署管内での刑法犯の発生状況は、22年度に比較して16・5%減の888件でした。

交通安全については地域安全運動地区（自治会別自主取り組みや、地域交通安全推進委員会議の開催、街頭啓発等が行われています。竜王町内の平成23年度の交通事故による死者は1名で傷者数は145名と前年度とほぼ変わらず、約半数が交差点における事故です。

なお、当町では信号のない平面交差点が多いので「止まる・見る・待つ」をモットーに安全運転に徹するよう啓発の必要があります。



地域安全パトロール車

地域ビジョン計画策定支援について

【業務の目的】

平成22年度に実施した「竜王町まちづくり診断」を受け、それぞれの自治会の特徴を活かした活動や、課題解決に向けた方向性について整理し、今後の方向性を見いだしながらまちづくりへの思いを広げていくため、自治会ごとのまちづくり計画書を策定します。

【業務の概要】

①モデルとして5自治会を対象に、地域ビジョン計画策定の意義や目的、策定方法や組織体制、策定に向けてのスケジュール等についての事前説明

会の実施。②自治会で計画づくりを進める中で、支援が必要な場合は町の担当課が自治会支援を行います。

主な質疑応答

問 この地域ビジョン計画策定支援の取り組みでどのようなことが出来るのか。

答 集落で困っていることや村づくり事業での集落ビジョンづくりの手助けができ、ハード計画がある場合は助成金の情報提供や法的な相談、またソフト的な面での支援もさせていただきます、よそでの情報も伝えて、直面する自治会の課題を支援していきます。

日野川流域農業施設（国営）の機能保全について

昭和49年から平成6年にかけて実施された国営かんがい排水事業により

各委員会活動

造成された蔵王ダム、頭首工、揚水機場、幹線用水路等の数多くの国営施設がありますが、これらの施設は建設後約20年が経過し、施設の老朽化が進行しています。そこで、「国営施設機能保全事業」に取り組み、施設の長寿命化計画を作成し施設機能の監視や補修・補強等を実施されるものです。

事業費は、概算工事費が26億3千万円、その他の費用を入れ総事業費は34億円となり、費用の負担割合は国が66・6%、県が17%、市町が6%、地元10・4%となります。

橋梁の長寿命化修繕計画について

本町においては81橋を管理しているが、そのうち半数近くの橋が、既に架けられて40年以上を迎えます。30年後には91%が架けられて50年を迎えます。

このことから、維持管



薬師橋

理費用の縮減を図るため計画が策定されました。

平成25年度より傷んだ箇所の補修などを順次実施の予定です。計画的に橋を補修することにより寿命を50年以上延命できるといわれていることから、本計画により橋の維持管理費用は22億5千万円から11億6千万円程度と大きく節減できます。

公共交通対策について

今年度、町内の公共交通路線について、町民の皆様にとってより利用しやすい体系となるように検討するため、65歳以上の方を対象にアンケートを実施され、あるべき姿を模索し、社会実験が行われます。

今後の取り組みは7、8月に竜王町地域公共交通会議で検討し、9、11月で社会実験を実施される予定です。

教育民生常任委員会

幼保一体化の取り組みについて

これまでの取り組みについては、①幼稚園・保育所を問わず、希望するすべての子どもに対し、生涯にわたる人格形成の基礎である質の高い幼児教育・保育を保障する。②仕事と子育てを両面で支援するなど社会全体で次代を担う子どもの育ちを支える。③希望するすべての子ども及び子育て家庭を支援する。という3つの視点から進められてきました。

また、現在、これら3つの視点を踏まえ、(1)質の高い学校教育・保育の一体的提供(2)保育の量的拡大(3)家庭における養育支援の充実の3点を目的とし、国会において審議中です。

当町においても、

2015年度からの開始に向け、ワーキング会議を開く等をし、準備を進めているとの説明を受けました。

主な質疑応答

問 竜王町立幼稚園については、現行の幼稚園、総合子ども園どちらを選択するのか。

答 ワーキングチームでこれから検討していきますが、3、5歳だけの幼稚園として残ることは待機児童解消の面から考えても難しいと思います。

主な意見として

保育の面については、ひまわり保育園に頼りきりの感があるが、今年度、待機児童が出ている現状を真摯に受け止め、行政

としてしっかりとした方向性を出されたい。

竜王中学校の部活動における現状と課題について

中学校の部活数や部活動在籍者数、中体連大会に参加を認めているクラブ等の種目について説明を受けました。

中でも生徒の個別ニーズが進む中、複数顧問制を原則としている中学校としては20名の教員では限界があること、1チームを形成できない場合は廃部としてきたが、生徒や親の思いからなかなか廃部に出来ない現状等、学校側だけで対応が出来るものではなく、地域ぐるみで協力していくことが必要であることを確認しました。

(次ページに続く)

主な質疑・応答

地域活性化特別委員会

問 1つのクラブに複数顧問を置いているが、1人では都合が悪いのか。

答 大会等に出場する場合、引率する責任がありますので2人以上の顧問を置いています。

問 クラブ活動における顧問が足りないのであれば、外部からコーチとしてお願いしてはどうか。

答 指導者の体制づくりについては、学校側も地域にお願い等をされていますが、平日の夕方に来てもらえる方がおられないのが現状です。



竜王中学校部活動の様子

(仮称)竜王岡屋工業団地造成事業について

4月20日 県の新駅・特定プロジェクト対策室・県土地開発公社と竜王町との年度始めの打ち合わせが行われました。

今後の予定

- 5～6月 第2回目の環境影響評価審査会
- 12月上旬 環境影響評価書の公告縦覧
- 実施設計業務の業者が決まり、工期は5月9日より来年3月19日となっております。

主な質疑・応答

問 交通量や排水に対する地元の質問や要望にどう対処されるのか。

答 事業が進む中で、情報なり素案が示され事業

が固まる前に、地元との話し合いの場を設定したいと思っています。

問 祖父川と中ノ川の流域に調整池を設置して50年確率の災害に耐えること説明されたが、その考えは変わっていないか。

答 その方針は変わっていません。

三井アウトレットパーク滋賀竜王の動向について

第II期増床に向けての事業計画が進行中で、5月21日に地元5自治会と関係団体との周辺地域説明会が行われました。

工事期間中の駐車場として民有地の確保に努めるほか、総合運動公園内の多目的広場を舗装して臨時駐車場に、また敷地内の空き地を造成して駐

車場に使わせてほしい旨の要望が出ています。

エイエフティー(株)の進出について

建設計画のスケジュールに基づいて施工業者が決まり、建設工事の施行手順について4月6日に地元説明会が行われました。

6月から工事にかかり、来年秋に本格稼働する予定です。



エイエフティー(株) 建設予定地

主な質疑・応答

問 従業員の地元採用はあるのか。

答 人員計画は90人です。本格稼働を進めるため、当初は本社からベテラン社員を配属し、地元採用は、事務職員を中心に数名にとどめます。技術者については、養成しながら地元社員が増えると思われま

(株)雪国まいたけについて

委員からの「農工法の期限が来年3月に迫る中で、今後の進め方について町はどのような方策を講じていくのか」の質問に対して、「雪国まいたけに早期に方策を出すよう迫っていきたい。町としても強い覚悟で進めます」との答えがありました。

議会基本条例推進特別委員会

「竜王町議会議規則」について学習会を開きました。特に議論がされたのは

- ① 議員の議案提出権について
- ② 少数意見の報告について、少数意見の留保について
- ③ 本会議における表決の順序
- ④ 百条委員会について
- ⑤ 懲罰について

議論を深く交わし、今後も研究を重ねて、運用についても議論することになりました。

「竜王町議会議規則」は、議会基本条例の理念である住民に開かれた議会を目指し、議会機能を十分発揮するための規定であり、繰り返し学ぶ必要があると全員で認識しました。

みなさんの声を町政に届けます

一般質問

8議員が18問

- | | |
|--------------------------|---------|
| ①通学路の点検と整備について | 小森 重剛議員 |
| ②レスキュー命のバトンについて | 竹山 兵司議員 |
| ③竜王町立学校等の改築計画について | 貴多 正幸議員 |
| ④終末期の医療について | 山田 義明議員 |
| ⑤「ふるさと一新」について | 内山 英作議員 |
| ⑥竜王町における生涯学習社会と生きがいについて | 西村 公作議員 |
| ⑦新規デイサービスセンター開設に伴う対応について | 古株 克彦議員 |
| ⑧子ども・子育て新システム | 若井 敏子議員 |

答

集団登校中の事故については、教

問 全国で集団登校の児童の列に車が突っ込み、幼い児童が犠牲になるという痛ましい事故が多発しています。そこで、竜王町の通学路の安全対策は万全なのか、また点検はされたのかを伺う。また、防犯対策については、小学生の下校時に保護者、地域の方々の協力により、スクールガードが実施されており、児童の見守りがある程度確保されているとは感じますが、夜間の対策については不十分であると感じます。そこで防犯灯の増設の計画はあるのかを伺う。



小森 重剛議員

通学路の点検と整備について

関係機関に継続して改善要望をしていきます

育委員会としても憂慮すべき事態ととらまえ、小学児童の通学路を教育委員会事務局職員とスクールガードが一緒に歩きながら点検しました。結果、県道綾戸東川線に限らず、危険と思われる箇所は相当数ありました。

学校では、各々の保護者の意見を聞きながら、交通安全、防犯の両面から判断し、ベストといえます。

防犯灯の設置については、隣接圃場への障害となっている箇所もあり、歩道の拡幅要望を含めて設置工法を検討していきます。



集団登校する児童の列（県道綾戸東川線）



竹山 兵司議員

レスキュー命のバトンについて 命のバトンとは救急医療情報キット のことで

交通安全全局において、
1973年にデザインさ
れたマークで、救急医療
を表しており、最近では
日本でも救急車にこの
マークが採用されるよう
なってきました。
命のバトンの普及は、
広報5月号に掲載すると
ともに、各地区の区長、
民生委員児童委員、関係
役員に説明しました。

問 運動会のバト
ンを連想する救
急医療情報キット「レス
キュー命のバトン」の容
器に書かれたマークは
何か。
全戸配布される、この
「命のバトン」の普及に
ついて伺う。

答 命のバトンは、
救急時に必要な医
療情報および緊急連絡先
等を保管する救急医療情
報キットです。平成20年
5月にアメリカのオレゴ
ン州ポートランド市の実
践をもとに東京都港区に
おいて全国で初めて実施
されたとされています。

このマークは「スター
オブライフ（生命の
星）」と言います。アメ
リカ合衆国運輸省幹線道



命のバトンとステッカー



貴多 正幸議員

竜王町立学校等の改築計画に ついて 計画通り進行できるように 取り組みます

問 町立小・中学
校や幼稚園の今
後の改修計画について
伺う。

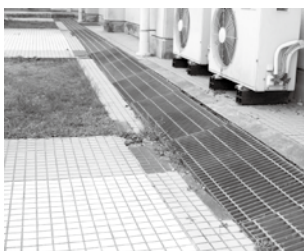
また、平成24年度竜王
町教育行政基本方針の
中には、防災センターと
しての機能を備えた学
校整備に焦点を当て計
画することが求められ
るとあるが、具体的にど
のような考えがあるの
か。

答 竜王西小学校に
ついては、平成25
年度から特に学校から要
望のある放送設備改修を
計画し、平成27年度、平
成28年度に体育館改修と
中庭の大規模修繕を計画
し、その後、老朽改修工
事を計画しております。
竜王幼稚園につきまし

は、内外塗装やトイレ
等を含めた老朽改修工事
を平成28年度に計画して
います。

竜王西幼稚園について
は、園児数の増加による
学級増に対応できる教室
の増築計画を平成26年度
に計画しています。
竜王中学校については、
平成26年度から3年間で
体育館の大規模改修およ
びプール、グラウンド、
テニスコートの改修を計
画しています。
竜王小学校については、
今年度改修工事を行い、
平成33年度に改築工事を
計画しているところです。
次に、防災センターと
しての機能を備えた学校
整備についてですが、今
回の竜王小学校の改修工
事では、トイレの洋式化

おおよび障がい者用トイレ
の設置や昇降口や玄関に
スロープを設置するなど、
避難されてきた高齢者等
の方にも対応できるように
考えています。
また、家庭科室につい
ては、避難者の調理室と
しての機能を視野に教室
の配置換えも含めて検討
中で、保健室にシャワー
室を設置することも対応
のひとつです。
井戸水も現存のまま残
し、被災時に活用できる
ようポンプの更新を行
います。



竜王西小学校中庭の
段差がはげしいグレーチング

一般質問



山田 義明議員

問

終末期の医療については、患者やその家族が納得いく治療が得られるなら問題ありませんが、往々にしてその期待にそぐわない場合があります。

患者や家族および親族に納得のいく終末期医療が出来るよう、当町の医療機関や担当課で「リビングウィル」、「終末期医療に関するガイドライン」を有効に活用し、人生の最期まで納得のいく生き方が出来るような取り組みが出来ないかを伺う。

答

「リビングウィル」や「ガイドライン」に沿った治療方針については、個人の尊厳、医療への望みなど患者、

終末期の医療について

「リビングウィル」の情報提供と啓発についても考えます

家族をはじめとする介護者、病院や施設、医者など医療スタッフにとつて、患者本人の意思を反映した医療となり大変有用なものです。

「生きること」、「終末期を迎えること」に前向きになる「リビングウィル」の選択もあることの情報提供とともに、介護者や医療スタッフも一体となる地域社会づくりについての啓発についても必要と考えています。



内山 英作議員

問

まちづくりの三つの一新(新しい施策・どこにもない施策・模範となる自治体)を掲げて取り組まれたが、計画目標が過ぎていく多くの計画が未だに町のホームページに掲載されているのは驚きである。中でも、一新を掲げたにも関わらず、21年度で期限切れの行政改革大綱がなぜ改訂されなかったのか。計画も目標もない状況でどのように取り組まれたのか伺う。

答

21年度は財政非常事態として、事務事業の点検や事業評価を行い、財政健全化に向けた住民説明会を開催しました。22年度には住民サービスへの直接的影響

「ふるさと一新」について

財政健全化プランで対応します

施策を中心に改革をし、その結果として、実質公債費比率の引き下げにつながりました。今後、この財政健全化プランの成果も踏まえながら、人口減少や地方分権が進む中で、第五次総合計画の確実な推進を図るべく、行財政のあり方について、日々点検、改善、改革に心がけてまいります。

ホームページでの情報発信については、より分かりやすいページづくりに留意し改善をします。一新とは、改革の積み重ねの意味を含めた表現です。改革継続で結果として新しさ、フレッシュ性が生み出されます。18年度に策定された大綱(21年度目標)を目標とし、その検証を繰り返すこと、また新たに項目が必要になれば付け加えていきます。



「第五次竜王町総合計画」の冊子



西村 公作議員

竜王町における生涯学習社会と生きがいについて

生きがいづくりに繋げる活動を推進します

何か。

問

生涯学習社会が叫ばれて久しいが、人生80年代となり、健康で趣味や読書に親しみながら過ごせたらこんな幸せはないと思います。

答

①竜王町には生涯学習の活動拠点施設として、公民館や図書館、またはドラゴンスポーツセンター等があるが、その利用状況はどうか。

②公民館ではシニアデビュー講座や女性いきいき講座、また熟年大学でのコース別・全体学習を開催していますが、その成果はどうか。

③今後ますます高齢者は増えると思います。が、課題や問題点は

①公民館は、リニューアル効果もあり、昨年度は4万人を超える4万3380人の利用がありました。図書館は、貸出カードの登録者数が平成23年度末時点で9599人となっており、町の総人口に対し約74%の登録率です。ドラゴンスポーツセンターの利用実績は平成22年度で延べ7万8163人、ドラゴンハットは12万1766人で、そのほかテニスコート等を合わせると20万人を超える利用者でした。



リニューアルされた公民館

②これらの講座や教室が、仲間づくりのきっかけとなつています。住みよい地域社会づくりのための人材育成や地域社会への円滑な参画を支援することが目的です。

③高齢者や退職シニア層は見方を変えると、知識や技術等の豊かな経験を持つ潜在能力を秘めた地域資源とも言えます。その資源を地域活性化等の社会貢献活動へ活かすことが期待されます。

問

超高齢社会を迎える中で小口地先に2箇所のデイサービスセンターが同時に開設されるが、町としてどのような支援や対応を取られるのか。

また、災害時等のセーフティネットワークとして地元自治会の関わりを含めての対応について質問します。



古株 克彦議員

新規デイサービスセンター開設に伴う対応について

地域包括支援センターで、利用される際の支援をしていきます

超高齢社会を迎える中で小口地先に2箇所のデイサービスセンターが同時に開設されるが、町としてどのような支援や対応を取られるのか。

問

また、災害時等のセーフティネットワークとして地元自治会の関わりを含めての対応について質問します。

答

デイサービスセンターとは介護保険事業における通所介護事業所のことを言い、滋賀県指定と竜王町指定の2種類があります。小口地先の通所介護事業所は、滋賀県指定の事業所であることを前提として、その支援や対応については、事業所を開設

された時には、他の事業所と同様に、家族介護者支援事業を委託したいと考えております。

また、利用者が竜王町の方の場合には、ケアマネジャーとも連携を図りながら、福祉課地域包括支援センターで利用に関し、ての支援を個別に行っていくこととなります。

次に、非常災害に際してですが、介護保険法上、通所介護事業者は必要な具体的計画を策定するなど対策の万全を期すことになって

います。地元との関わりとしては、自治会が事業所の避難訓練にご協力いただいたり、地域での防災訓練に事業者が参加していただいたりすること考えられます。



デイサービスの様子

今後も、学校、地域、保護者で登下校時の見守りを強化します。

問 地域福祉の推進について

23年度から「福祉保健推進員」は、

健康づくりに軸足を置いたまちづくりを担い、その所管課を健康推進課へ変更しました。

竜王町における地域福祉の推進については、社会福祉協議会の「福祉委員」を中心に展開したいと考えています。

若井敏子議員

問 町長の4年間の実績を伺う

質問されています「ビジョン20」

は、私が主幹として発行いたしました「地方政治を語る」の紙面で竜王町の将来の方向や自分の思

いを記載したものです。

マニフェストでお答えすると総合点で65点です。

今回の選挙戦に臨んでのマニフェストは10項目で、継続項目と新たな項目を加え、前回のものと整合しています。

問 介護保険、シヨートステイの充実について

「いきいき竜王長寿プラン」では

住み慣れた地域での介護サービスを充実させるとしており、通常利用し、なじみの関係が出来ている事業所で夜間利用や、緊急時に対応が出来るように要綱改正を検討しています。

問 公契約条例の制定を

公契約制度は、公共工事などに従事する労働者の労働条件

を確保する趣旨の制度です。

経営者が人件費のウエイトをどう調整するかは経営戦略であり、資本主義では当然のことです。

町としては公共サービス基本法の理念を踏まえ、適切に対応します。

問 庁舎の配置について

庁舎には一日約200人が来庁されて

います。課の配置については「わかりにくい」とか、「不便だ」等意見をいただいています。今日まで何回となく配置の見直しをしてみました。ご意見を参考に議論をさせていただきます。

編集後記

夏の日差しがまぶしい今日この頃ですが、皆様方には益々お元気で過ごしのこととお喜び申し上げます。東日本大震災による福島第一原発の事故に端を発した原発廃止問題が議論され、節電が叫ばれているこのとき、大飯原発の再稼働が余儀なくされていると

ころです。近隣の私たちにのみならず、このことに深く関心を持つことがもともと大切なことです。私たちの暮らしが、安全で安心できるまちづくりに向け、町民の皆さまとともに取り組んでいきたいと思ひます。

- 議会広報特別委員会
委員長 内山 英作
副委員長 山田 義明
委員 小森 重剛
貴多 正幸
菱田 三男
蔵口嘉寿男

私の健康法

喜寿、もうこんな年に

目先の事も考えず、向こう見ずな性格の私を、亡き夫と子どもたち、そして今の家族は何時も私を見守ってくれます。だから私は今おかげさまで健康そのものです。

朝のラジオ体操です。やり始めてもう十年以上になり、毎朝六時には起床し、一日の始まりとして必ず鏡の前で、指先までしっかりと行います。わずか十分間ですが、私には貴重な時間なので

独りになり書道教室を始めて十七年、同じくメキシコ支部を結成して十二年になります。昨年、教室をリフォームし、隠居してからは支部長を姪に託し、今は数人の生徒さんと書を楽しんでいます。メキシコ支部も昨年を最後とし教室は高段位の生徒さん三人に指導をお願いして、私は毎月送られて来る六十人の作品に目を通し、重要な個所のみiPadを使って添削しています。もう一つの健康法に欠かせないのが

そして最後に、先祖が残してくれた広い畑の一部に花と少しの野菜作りをしています。今年もキュウリ、トマト、ナス等の夏野菜が実を付け始めました。毎日変わりゆく畑の色彩は今朝も生き生きとこれからの一日を元氣付けてくれます。周囲のすべての人々と自然の恵みに感謝の毎日です。



西川在住 谷口信子さん